

## ウラジオストク滞在に関する報告について（5月分）

### 1. 5月の実施事項等について

---

- 20日 海外自治体等国際交流事業関係者との意見交換会
- 21～24日 富山県訪問団 訪浦
- 23日 第22回ウラジオストク日本語スピーチコンテスト

### 2. ロシア語学校について

---

ロシア語の授業は4月と同様、「文法」「会話」「聞き取り」「読解」の4科目で構成されています。

5月に入り、新たな留学生の受け入れがあり、私のクラスにも韓国からの留学生が1人増えました。極東連邦大学附属ロシア語学校の外国人向け留学コースは、一年中どのタイミングでも入学することができ、クラス分けのための試験を受けた後、習熟度に応じて振り分けられます。習熟度やクラス編制に関しては柔軟に対応してくれるようで、各クラスに振り分けられた後でも教員と相談しながら自分に合ったクラスを選ぶことができます。

### 3. ウラジオストク市内の状況について

---

#### ・治安状況

当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

#### ・気候

5月は暖かい日もあり、雨はあまり降らず穏やかな天気が続きました。しかし、夜はまだまだ寒く外出時はコートなどが必要となります。また、ロシアではセントラルヒーティングで建物ごと暖めるのですが、5月に入ってから暖房が止まってしまったので、寒い日などは衣類を重ね着しながら過ごしました。さらに、5月25日から配管などの点検のため市内のほとんどの家でお湯が止まっています。ロシア人は「たまに浴びる水シャワーは健康に良い」と言っているのですが、その言葉を信じて歯を食いしばりながら水シャワーを浴びていますが、早くお湯が出て欲しいと願います。

#### ・行事

#### ◆旧メーデー

5月1日は旧メーデーでした。市中心部と対岸地域を結ぶ「黄金橋」と市中心部のスヴェトランスカヤ通りが車両通行止めとなり、多くの人が普段はなかなか歩けないところを歩いていました。また、「黄金橋」から始まる行進も行われ、多くの人々が共通の衣装を着て、ロシア国旗等を持ちながら行進していました。日本ではあまりパレードは見かけないので貴重な経験となりました。



(写真1：黄金橋でのパレード)

#### ◆戦勝70周年記念日

5月9日は「戦勝70周年記念日」(第二次世界大戦における独ソ戦の終結日)と呼ばれる祝日でした。例年は、戦勝記念日としてパレードなどが行われるだけのようですが、今年は70周年ということで盛大に催し物が行われました。市中心部の広場前の大通りでは軍事パレードが行われ、様々な分隊や兵器、さらには戦闘機までもが登場しました。また夜には花火も打ち上げられ、市内ではたくさんの人々が戦勝記念日を祝っていました。



(写真2：スヴェトランスカヤ通りでの軍事パレード)

#### ◆ナイトミュージアム

5月16日はナイトミュージアムと呼ばれるイベントが行われました。ウラジオストク市内にある「アルセーニエフ記念沿海州総合博物館」、「アルセーニエフの家記念館」、「市立博物館」などの博物館が共通チケットで入館でき、夜中の12時までさまざまなイベントを行っていました。私もいくつかの博物館に行ったのですが、ウラジオストク市は博物館の数も多い上、内容もかなり充実していたので、とても楽しむ事ができました。

#### 4. 富山県訪問団の訪浦について

5月21日(木)～24日(日)まで、夏野光弘観光・地域振興局次長をはじめとする富山県訪問団(計4名)がウラジオストクを訪れ、沿海地方政府、極東連邦大学、ウラジオストク国立経済サービス大学、ウラジオストク日本センターを訪問しました。

富山県とロシア沿海地方は1992(平成4)年8月に友好提携を締結しており、今年が友好提携23年目になります。友好提携以来、富山県と沿海地方の間では、

沿海地方への県職員派遣、沿海地方からの県費留学生、海外技術研修員やロシア人国際交流員の受入れによる人的交流、ウラジオストクでの日本語スピーチコンテスト開催による日本語教育支援、その他、文化、スポーツ、経済、環境など、様々な分野で交流を行ってきました。

表敬訪問先では、これまでの両県地方の交流を踏まえ、今後の更なる交流発展に向け互いの協力を確認し合いました。



(写真 3 : 沿海地方政府表敬訪問)

## 5. 「第 22 回ウラジオストク日本語スピーチコンテスト」について

5月23日(土)、極東連邦大学附属図書館で、「第22回ウラジオストク日本語スピーチコンテスト」(主催:富山県、沿海地方政府、在ウラジオストク日本国総領事館/後援:ウラジオストク日本センター、ウラジオストク日本人会、富山ウラジオストク会)が開催されました。

今回のコンテストには「児童・生徒の部」7名、「大学生の部」9名の計16名が出場しました。

「児童・生徒の部」出場者は、あらかじめ与えられたテーマ(「私の趣味」)について3分間でスピーチを行い、「大学生の部」出場者は各自で選んだ自由テーマで、5分間スピーチを行いました。

結果は以下のとおりです。

【児童・生徒の部】課題「私の趣味」

優勝 ディヴェエヴァ・アンゲリーナさん

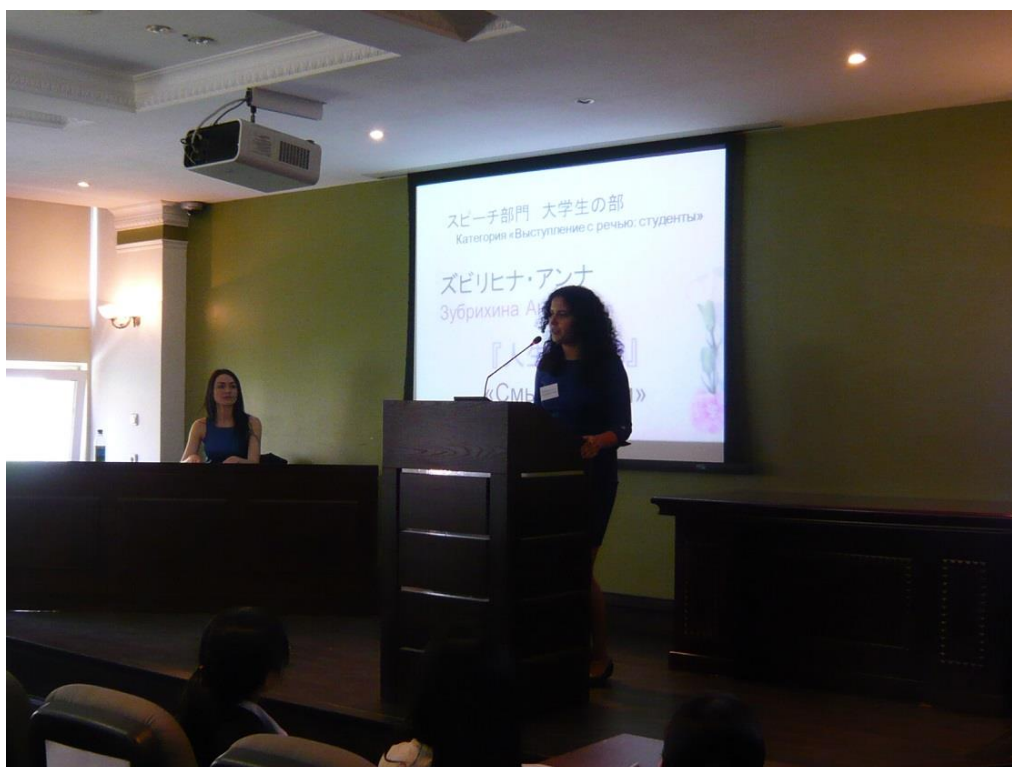
(ウラジオストク第51番学校8年生(日本の中学2年生に相当)、女性)

【大学生の部】

優勝 ズビリヒナ・アンナさん(極東連邦大学2年生、女性)

発表テーマ「人生の意味」

なお、「大学生の部」で優勝したズビリヒナ・アンナさんには副賞として、富山県より富山研修旅行が贈られました。また、「大学生の部」で1位及び2位になった人には、秋にハバロフスクで開催予定の「極東・シベリア学生日本語弁論大会」への出場権が与えられました。



(写真4:「大学生の部」優勝者のズビリヒナ・アンナさん)

## 6. 第19回「太平洋国際観光博覧会(PITE2015)」の視察について

5月21日(木)～23日(土)、極東連邦大学のルースキー島のキャンパス内にて開催された「第19回太平洋国際観光博覧会(PITE2015)」(主催:ロシア沿海地方政府観光局)を、富山県訪問団が22日(金)に視察しました。

この博覧会は、ロシア極東地域やアジア太平洋地域の観光、旅行業に携わる企業（旅行業者、航空会社、通訳業、ホテル、飲食店等）や自治体等がブースを出展し、観光情報の発信を行うとともに、地元の伝統芸能や料理、特産品の紹介等を通して、観光・旅行業の発展を図るもので、例年 5 月に開催されています。

今回の博覧会には 16 か国（ロシア、中国、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、トルコ、インド、アメリカ、日本など）より 309 者が出展し、19,297 名の参加があったとのこと（去年は 245 者、14,162 名）。

日本からは、鳥取県、島根県、新潟県、北海道、沖縄県などの自治体や民間企業が参加し、観光情報などを発信していました。



(写真 5 : 観光博覧会の様子)